



恵那市立吉田小学校  
 平成24年1月11日  
 = 11号 =

## 継続は力なり

校長 三宅 勝義

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

氷点下の朝が毎日続いた年末・年始でしたが、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。これからも寒い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

いよいよ3学期がスタートしました。始業式の中で、「誰でもできることを誰にもできないくらい

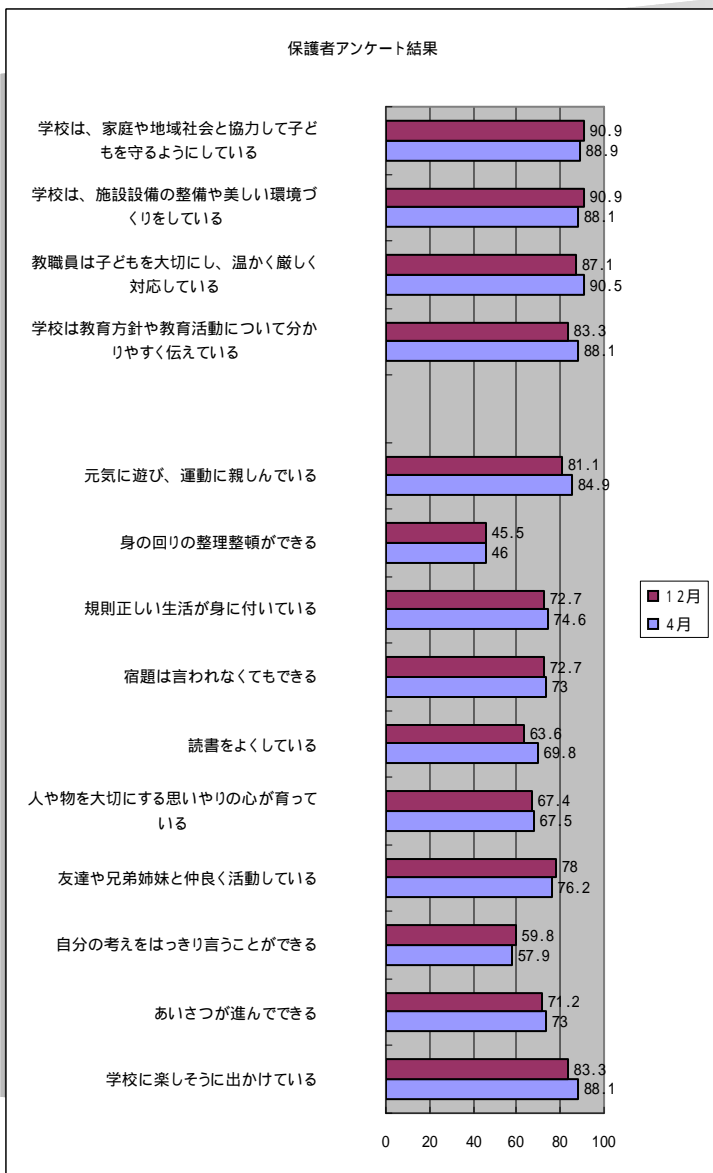
続ける」という言葉を紹介し、小さな事でも続けることが大切であるという話をしました。今年も、子ども達が更なる力を付ける年になって欲しいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお祈りします。

## 保護者アンケートより

昨年末、お忙しい中アンケートに回答していただきましてありがとうございました。

左記のように集計いたしましたのでご報告いたします。この結果を3学期の指導や来年度の方向に生かしていきたいと考えています。

結果をみますと、相変わらず「身の回りの整理整頓ができる」の項目の落ち込みが気になります。穏やかで素直な反面、生活規律面での弱さがあるように思います。小人数のメリットとして一人一人の子に対してより丁寧に見ることが出来る環境にあります。しかし、知らず知らずのうちに手をかけすぎてしまっている現れではないでしょうか。そんなことも考慮して、今後、「温かく厳しい指導」のさらなる充実を目指していきたいと思っております。



## アンケートでのご意見・ご質問

### ご意見

- \*いつも子ども達を温かく丁寧に見守っていただき、ありがとうございます。少人数の学校ですが、少人数のよさがあると思います。マイナスの面はカバーできるよう話し合ったり意見を出し合ったりしながら、吉田の環境でのびのびと成長をして欲しいと思います。先生方のいろんな学校での経験から意見や対策などもよろしく願います。
- \*お世話になり、ありがとうございます。毎日、楽しく学校ですごしている様子を見ることができて嬉しく思います。今後ともどうぞよろしく願います。
- \*いつもお世話になっております。毎日、元気に朝学校へ行き、大きな声で「ただいま」と帰ってくる我が子があることに感謝しております。これも、先生方がきめ細やかに温かく大切にしてくれているおかげです。ありがとうございます。
- \*いつもお世話になっております。現在のアットホームな感じを大事にしてもらいたいと思います。
- \*クラブ活動の時間を明智小学校との交流の時間としていただけるとありがたいです。(明智小学校と一緒にクラブの時間を楽しむ)
- \*お世話になりありがとうございます。学校での子どもの様子がどんな風なのか感じ取ることができて良かったです。懇談会では、クラス全体の様子がわかりました。子どもの話だけでなく、クラス全体の様子を知ることで、今どんな状態か分かりやすかったです。これからもどうぞよろしく願います。
- \*子どもが問題をおこしたとき、子どもの気持ちを細かく聞いてくださり、子どもへのアドバイスも丁寧にしていただきました。おかげで、子どもも気持ちを落ち着けて聞くことができました。大変感謝しています。ありがとうございます。
- \*先日、学校で行われました「携帯・パソコン等の正しい使い方」の講座は、大変子どもにとって役に立ったようです。これからどんどんネットやサイトに興味をもっていく年頃になっていくけれども、一つ間違えると危険な目に合うということが学べたみたいで良かったです。

### ご質問

- Q1：交流会なのでお弁当の日がありました。行事以外でもお弁当の日があっても子ども達は楽しいのではないのでしょうか。
- A1：子ども達は弁当の日をとても楽しみにしています。時折「弁当の日」を設けることは、学校生活に楽しみを増やすことにもなると思います。また、「弁当の日」を利用していろいろなイベントを計画することも考えられます。しかし、弁当を作るにはご家庭の負担をお願いしなければなりません。PTAの方で意見がまとまれば実施可能です。
- Q2：いつもお世話になります。大規模校では学力別にクラス編制をして算数の授業を進めている様子ですが、詳細が分かるのであれば知識として知り得たいと思います。(小規模校での対応も含む)
- A2：規模の大きい学校では(主に1学年2学級以上)少人数指導という加配の教員が配置されております。(規模により、1～2名)その少人数指導の教員と担任がチームを組んで子どもの学力に応じた指導をするものです。
- 具体的には、1学年2学級の場合、2クラスの学習集団を解体して、3つの学習集団を作ります。その3つは、均等の集団でなく、「苦手」「普通」「得意」というように子どもの学力の実態に応じて集団を分けます。その3つの集団を、2人の担任と少人数指導の教員1人の3人で指導していく仕組みです。「苦手」の集団には、より丁寧にきめ細かく、「得意」の集団には、より自分たちで考える時間を増やすなど子どもの実態に応じた指導を工夫しているところが特徴です。
- 小規模校では、もともと人数が少なく、一人一人に目が届きやすいということでこのシステムは導入されておりません。

